

北海道大学病院 研究開発コーディネーター

杉田 修氏 / 基調講演・パネリスト

「アカデミアにおける医薬品開発の留意点について」

1981年東京大学薬学部博士課程修了(薬学博士)。サントリー株式会社入社創業活動に携わる。1984米国Rockefeller大学にてCytochrome450の生化学的研究を行った。帰国後薬効部門に移りCMC、製剤化研究に従事した。管理部門に移り後継性創薬部門統括/輸送製造販売責任者の立場から医薬品の製造および品質確保に従事した。その後アストラゼネカ(株)輸送製造販売責任者をを経て、前述し研究を進めるために2011年北海道大学(教授)に在任した。現在は研究開発コーディネーターとして広くアカデミアの研究開発を支援している。専門は非臨床開発(代謝、体内動態、製剤化研究など)



株式会社CTD 代表取締役社長

小林 史明氏 / 基調講演・パネリスト

「医師主導治験の実績と課題」

1989年富山県立薬科大学薬学部卒業、同年富山県立薬科大学附属病院薬剤部、1997年以降国立医薬品食品衛生研究所医薬品品質評価センター(現PMDA)、厚生労働省にて新医薬品の承認審査業務等に従事。2004年社団法人日本医師会治験促進センターを経て、2010年株式会社CTDを設立。主に医師主導治験の企画・運営支援を行っており、支援した医師主導治験で12品目の承認取得。業界活動:厚生労働省の治験活性化計画に関する検討会構成員、AMEDのGCP運用改善研究費の研究協力者、一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団監事等。



ジェイファーマ株式会社 代表取締役社長

吉武 益広氏 / 基調講演・パネリスト

「大学発ベンチャーからファーマへの道」

1981年北海道大学・水産学部卒業後、株式会社大塚製薬に入社。1991年から米国・欧州に28年間駐在し、研究、臨床開発、薬事申請、事業開発、現地子会社の経営に従事。3つの新薬の研究開発、及び、米国FDA、欧州EMA、日本PMDAへの薬事申請・承認に様々な角度から携わる。グローバルでの責任者として担当した新薬候補候補は、ビルゲイツ財団、WHO、日本政府の支援を受け、現在、世界110名以上の国々で多剤併用試験の治験に使用されている。2019年より、大学発のバイオベンチャーであるジェイファーマ(株)で新薬開発をターゲットとした日本発・First-in-classの抗がん剤の研究・臨床開発・商業生産に従事しており、近い将来の薬事申請を念頭に社内体制の構築・整備を積極的に進めている。



VIB (フランダースバイオテクノロジー研究所)

科学政策シニアマネージャー 兼 国際資金調達オフィス・ヘッド

リーヴェ・オンゲナ氏 / パネリスト

科学政策シニアマネージャーとして、欧州及び世界規模でのVIBのベンチマーキングに携与。VIBを代表してEU-Lifeネットワーク(ライフサイエンス分野の研究機関のアライアンス機関)など複数の国際ネットワークに参加。また、欧州研究領域(EIRA)の活動(研究評価、オープンイノベーション、知識活用など)ではEU-Lifeを代表。さらに、VIBの国際資金調達オフィスの責任者として、欧州内外からの研究資金拡大に取り組む。現職就任前は、Innogenetics(現富士レボ社)にて、国際ビジネス開発と事業開発に従事。3年間日本に滞在し、千葉大学、京都大学でボスドクとして勤務後、富士レボ社と伊藤忠テクノケミカル(現伊藤忠ケミカルフロンティア)でビジネストレーニングを受講。日本能力検定試験N1レベル合格。



お問い合わせ先

富山県厚生部くすり政策課くすりコンソーシアム推進班

E-mail: ml-kusuri-toyama@pref.toyama.lg.jp

TEL:076-444-3943 FAX:076-444-9636

〒930-0094 富山市安住町7-18 富山安住町第一生命ビルディング2階

